

あしたの朝は凍らうよ。

あした眼さめりや硝子戸に

かんかん明あかいお日ばかり

霜の兒どもの影はなく

山の木の葉が、たゞ一つ。

雪と霜

冬の真夜中凍る中

雨戸の外へ来るものは

山の親子の雪と霜

坊はお寝間でよくねんね

霜の子供の来る晩にや

雪の小父さん遠い山

夜明けりや垣根の霜柱

遠いお山は白マント

雪の小父さん来る晩にや

霜の子供は洞の中

夜あけりやお庭に雪達磨

坊はお頭巾赤マント

黒と白

黒いは瓦焼く家いへの

夕焼小焼に並ぶ窓

土堀る男の背のほくろ

白いは町の瀬戸物屋

店に並んだ皿小鉢

八百屋たまなが通る甘藍の葉